

《Lesson 3》 冠詞

冠詞とは、a/an/the といったものです。もうすでに、a/an については使い方を理解していると思いますが、the については“play the 楽器”“practice the 楽器”でしか登場していないので、ここでは「the と a/an の違い」を確認しながら「the の使い方」について学んでいこうと思います。

【a/an の特徴】

(1) 不定冠詞 (特定の物を指さない冠詞)

(2) 基本的に可算名詞 (単数形) につく

<例> I want **a** new computer. (私は新しいパソコンが **1台**ほしいです)

(特定されている新しいパソコンではなく「どれでも良いので新しいパソコンが1台ほしい」という意味)

I have **an** old car. (私は古い車を **1台**持っています)

(特定されている古い車ではなく、「ある古い車を1台持っている」という意味)

(3) a/an の代わりに **one** が使えることが多い

<例> I want **one** new computer. (私は新しいパソコンが **1台**ほしいです)

I have **one** old car. (私は古い車を **1台**持っています)

【the の特徴】

(1) 定冠詞 (文の流れや状況から、何の名詞について話しているのか特定されている時に使う
共通認識を表す)

(2) 可算名詞 (単数形・複数形) だけでなく、不可算名詞にもつく

(3) 日本語では「その」と訳されることが多い

<例> I want **the** new computer. (私は**その**新しいパソコンがほしいです)

(会話をしている人たちの間では、「どの新しいパソコンか」理解されている)

I have **the** old car. (私は**その**古い車を持っています)

(会話をしている人たちの間では、「どの古い車か」理解されている)

(4) the の代わりに **that** が使えることが多い

<例> I want **that** new computer. (私は、**その**新しいパソコンがほしいです)

I have **that** old car. (私は、**その**古い車を持っています)

(5) 一度登場した「(a+) 名詞」は、それ以降は「the+ 名詞」で使われる (どの名詞について話しているか限定されるため) (しかし、直後の文では **it** や **they** など「代名詞」を用いられることが多い)

<例> I have a computer. **The** computer is very small. (**It** is very small.)

(私は、1台のパソコンを持っています。**その**パソコンはとても小さいです)

(6) 「ただ1しかない（と考えられている）」もの

<例> 太陽 = **the** sun **The** sun is very big. (太陽はとても大きいです)
世界 = **the** world I want to change **the** world. (私は世界を変えたいです)

(7) 名詞の一部になっているもの

<例> アメリカ合衆国 = **the** United States (of America) 太平洋 = **the** Pacific (Ocean)

(8) フレーズとして覚えた方がよいもの

<例> 午前に = in **the** morning 午後に = in **the** afternoon
夕方に = in **the** evening (ただし「夜に」は at night が一般的)
楽器を演奏する = play **the** 楽器
(日本の) ○○地方 = **the** ○○ area / region <例> **the** Kanto *area (関東地方)
*area / region = 地方 / 地域

=====

【the を理解するポイント】

the を理解するために必要なポイント

文章がどのような状況で使われているのか想像すること

です。例えば、以下の文。

Tom needs to go to the station. (トムは駅に行く必要があります)

この文章では、“a station” よりも “the station” で使われることが多いです。なぜなら、**話をしている当事者の間では「どの駅」なのか限定されていることが多いから**です。例えば会話の中で「友達を迎えに行くため、トムは駅に行く必要があります」といった文が登場した場合、**お互い『どの駅について話をしている（おそらく最寄りの駅）』か、理解している**と考えるのが自然ですよ？そのため、**the station** がよく使われます。同じような理由で **supermarket / bank / library** なども、（毎回ではありませんが）冠詞に **the** が使われることが多いです。

=====

I need to go to **the supermarket**.

→ 「**いつも買い物に行くスーパー**」という意味。

I need to go to **the bank**.

→ 「**自分の口座がある銀行**」という意味。

I need to go to **the library**.

→ 学校にいる場合は「**学校の図書館**」。それ以外なら「**いつも行く図書館**」という意味。

=====

このように、the の使い方を理解するポイントは、

「この文章はいったいどのような状況で使われているのかな？」と想像すること

練習でも「どのような状況で使われているのか？」を想像しながら問題を解いていきましょう！

ポイント！theが入らないフレーズ

go to school（学校に行く）や after lunch（昼食後）のような決まったフレーズの場合、本来であれば the や 所有格が入りそうな場面でも、入らないことがありますので、注意してください。

<例> I go to school by bus.（私はバスで学校に行きます）

<「自分が通っている学校」なので、the school / my school となってもおかしくないのだが、go to school は決まったフレーズのため、the や所有格はつかない>

I want to finish this after lunch.

<「自分がこれから食べる昼食」なので、the lunch / my lunch となってもおかしくないのだが、after lunch は決まったフレーズのため、the や所有格はつかない>

本ファイルの著作権は、著作者である藤井拓哉に帰属します。本ファイルを利用したことによる直接あるいは間接的な損害に関して、著作者はいっさい責任を負いかねます。利用は利用者個人の責任において行ってください。